

平成30年9月27日  
 東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題	販売額3億円達成に向けて出荷総会を開催！！ － J A しまね出雲地区本部平田柿部会 －
-----	---

(ダイジェスト)

9月18日にJAしまね平田柿部会の出荷総会が開催されました。  
 総会では部会から産地状況報告、加工計画、販売計画について報告があった後、7つの主要出荷市場から、部会の設定した単価への意気込みに併せ、平田の柿への要望と期待が述べられ、生産者、関係機関で出荷量の確保と品質の向上を確認しました。

柿の栽培面積52ha（西条、伊豆、富有等）で県内最大の産地であるJAしまね平田柿部会は、収穫・出荷を迎えたことから9月18日、生産者、関係機関及び県内外主要出荷市場7社を参集し出荷総会を開催しました。

出荷総会の前には、市場担当者と関係者に西条、伊豆、富有等の生育状況を現地で説明し、本年の平田の柿の作柄は酷暑で小玉傾向であるものの、病虫害や台風による被害がほとんど無く果面の汚損が少ないことなどの産地情報の共有化を図りました。

総会では、部会長のあいさつ、産地状況報告、30年産の販売、加工計画について説明があり、その後、7つの市場からは部会の設定した単価への意気込みに併せ、平田の柿への要望と期待が述べられました。



あいさつをする部会長

最後にIターンで柿栽培に取り組んでいる若手生産者の音頭で「高い品質で美味しい平田の柿を消費者に届けよう！ガンバロー！」と生産者と関係機関全員で出荷量の確保と品質の向上について確認しました。

当部会は長年、販売額3億円を目標としており、出雲普及部はポイントとなる管理時期に10会場での栽培講習会のほか、果実の肥大状況調査やカメムシのフェロモントラップによる飛来状況調査、西条の出荷ピーク予測のデータを提供してきました。今後も引き続き部会の悲願である販売額3億円が達成できるよう支援していきます。